

「『平成27年度 実践的な手術手技
研修向上事業』に関する評価会議」
実績報告

札幌医科大学医学部
解剖学第2講座 藤宮峯子

サージカルトレーニングを可能にした要件

- 1、日本外科学会・日本解剖学会
「臨床医学の教育および研究における死体解剖のガイドライン」(H24年3月制定)
- 2、札幌医大倫理委員会によるガイドライン制定
(H22年3月制定)
- 3、安全にサージカルトレーニングを行える
Thiel 固定法の導入
- 4、厚労省からの事業費の支給

札幌医大では、手術手技研修セミナーに対し厚生労働省より、平成24年度 800万円、平成25年度 870万円、平成26年度 504万円、平成27年度 257万円の予算が付きました。

平成24年度実施のセミナー

- (1) AO Trauma Japan上肢カダバーセミナー (H24年 11月24日)
- (2) 日本手外科学会カダバーワークショップ (H24年12月1～2日)
- (3) 北海道肩研究会解剖セミナー (H24年 12月 9日)
- (4) 腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術手技セミナー (H25年 2月17日)

平成25年度実施のセミナー

- (1) AO Trauma Pelvic Course-Cadaver Workshop (H25年 9月27日)
- (2) 第1回 日本肘関節学会カダバーワークショップ (H25年 10月5日～6日)
- (3) 整形外科卒後研修サージカルトレーニング
 - 第1回 H25年10月26日～27日 膝、足、手、肘関節
 - 第2回 H25年11月30日～12月1日 脊椎
 - 第3回 H26年1月25日～26日 肩関節、股関節
- (4) Thiel法固定遺体を用いたTVM手術手技の検討会 (H25年12月8日)
- (5) 第1回 Thiel法固定法遺体を用いた胸腔鏡下食道手術手技セミナー (H26年2月8日)
- (6) 第2回 Thiel法固定法遺体を用いた腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術手技セミナー (H26年2月9日)
- (7) 第5回 Thiel法固定遺体による麻酔ワークショップ (H26年2月22日～23日)

平成26年度実施のセミナー

- (1) 第2回 日本手外科学会カダバーワークショップ
(H26年9月20日～21日)
- (2) AO Trauma Course – Upper&Lower Extremity with Anatomical Specimens
(H26年9月26日)
- (3) 整形外科卒後研修サージカルトレーニング
第1回 H26年10月4日～5日
第2回 H26年11月8日～9日
第3回 H26年12月6日～7日
- (4) Thiel法固定遺体を用いたTVM手術手技の検討会
第1回 時計台骨盤解剖セミナー (H26年11月22日～23日)
- (5) 第2回 Thiel固定法遺体を用いた胸腔鏡下食道手術手技セミナー
(H27年1月17日)
- (6) 第3回 Thiel固定法遺体を用いた腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術手技セミナー
(H27年1月18日)
- (7) 脊椎MIS(低侵襲手術) Cadaver Seminar (H27年1月23日～24日)
- (8) 第6回 Thiel法固定遺体による麻酔ワークショップ
(H27年2月14日～15日)

平成27年度実施のセミナー

- (1) Thiel法固定遺体による脳神経外科Cadaver dissection
第1回 H27年7月24～25日 第2回 H27年12月4～5日
- (2) 整形外科卒後研修サージカルトレーニング
第1回 H27年9月5～6日 第2回 H27年10月3～4日 第3回 H27年11月28～29日
- (3) AO Trauma Course – Hand & Wrist with Anatomical Specimens (H27年9月11日)
- (4) AO Trauma Course – Foot & Ankle with Anatomical Specimens (H27年9月12日)
- (5) 第1回 日本肩関節学会キャダバーワークショップ (H27年9月26日)
- (6) 第1回 日本口腔外科学会・日本顎関節学会キャダバーワークショップ
(H27年9月26～27日)
- (7) JOSKAS(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会)セミナー カダバーワークショップ
(H27年10月24～25日)
- (8) 第2回 日本肘関節学会キャダバーワークショップ (H27年11月7～8日)
- (9) 脊椎MIS (低侵襲手術) Cadaver Seminar 2015 (H27年12月12～13日)
- (10) 第2回 時計台骨盤解剖セミナー (H28年1月16～17日)
- (11) 第3回 Thiel固定法遺体を用いた胸腔鏡下食道手術手技セミナー (H28年1月23日)
- (12) 第4回 Thiel固定法遺体を用いた腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術手技セミナー
(H28年1月24日)
- (13) 第7回 Thiel法固定遺体による麻酔ワークショップ (H28年1月30～31日)

(1) Thiel法固定遺体による脳神経外科Cadaver dissection

(第1回 平成27年7月24日～25日実施 第2回 平成27年12月4日～5日実施)

- ① 目的: 実際の臨床と同様の感覚のもと、手術手技の習得と解剖学的知識の確認を目的とし、「脳神経外科手術に必須である顕微鏡手技」及び「近年症例が増えている内視鏡下手術」の実習を行う。
- ② 内容: 受講者2～4名を1グループとし、各遺体に対し顕微鏡下または内視鏡下で、実際の手術アプローチを用いて手技を確認する。手術アプローチ終了後には、周辺の解剖学的構造物の確認を行い、知識の定着を確実に図る。
- ③ 参加施設・人数 4施設21名 (札幌医科大学 脳神経外科学講座 同門)
札幌医科大学 中村記念病院 旭川赤十字病院 帯広厚生病院



(2) 整形外科卒後研修サージカルトレーニング

第1回 平成27年9月5日～6日実施 第2回 平成27年10月3日～4日実施

第3回 平成27年11月28日～29日実施

①目的: 整形外科分野では、全身の関節、筋肉、神経、骨など運動器における疾患の治療を行う。そのため、脊椎、上肢、下肢の身体各部位の特殊性を理解し、それぞれの部位における手術の専門的知識及び手術手技の獲得が重要となる。

②内容: (第1回)肩関節、股関節 (第2回)膝、足、手、肘関節 (第3回)脊椎
教室員を中心に、正確な整形外科手術手技の教育と手技の継承、技術のレベルアップを図る。また、新しい術式の開発、実施例の少ない術式の習得を行い、医療技術の発展や医療安全の担保を図る。

③参加施設・人数 13施設50名 (札幌医科大学 整形外科学講座 同門)

札幌医科大学 北海道立子ども総合医療・療育センター 旭川厚生病院 滝川市立病院 釧路赤十字病院
砂川市立病院 市立室蘭総合病院 市立千歳市民病院 帯広協会病院 札幌清田整形外科病院
済生会小樽病院 浦河赤十字病院 函館五稜郭病院



(3) AO Trauma Course — Hand&Wrist With Anatomical Specimens (平成27年 9月11日実施)

- ①目 的: 上肢手術の種々の手術アプローチなどを生体と極めて近い物理的性質を持つ Thiel法固定遺体を用い、シミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術手技を習得する。
- ②内 容: 実習前に学術講習を行い(9/9~9/10)、手関節・手の手術アプローチ及び各部位の皮弁の解剖並びに挙上についての実習を実施。

③参加施設・人数 24施設27名 (世界外傷外科学会、全国規模)

釧路赤十字病院 大津市民病院 磐田市立総合病院 市立四日市病院 回生病院 兵庫県立西宮病院 南和歌山医療センター
湘南鎌倉総合病院 聖マリア病院 同愛記念病院 名古屋徳洲会総合病院 日本赤十字社医療センター 都立墨東病院
橋本市民病院 一宮西病院 岡山済生会総合病院 興生総合病院 鈴鹿回生病院 久留米大学 札幌医科大学 琉球大学
富山市民病院 巽病院 札幌徳洲会病院



(4) AO Trauma Course—Foot&Ankle With Anatomical Specimens (平成27年 9月12日実施)

- ①目的: 下肢手術の種々の手術アプローチなどを生体と極めて近い物理的性質を持つThiel法固定遺体を用い、シミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術手技を習得する。
- ②内容: 実習前に学術講習を行い(9/10~9/11)、脛骨、腓骨の後方アプローチと固定法、踵骨の外・内側アプローチ、距骨頸部への内・外側アプローチと固定法についての実習を実施。
- ③参加施設・人数 19施設24名 (世界外傷外科学会、全国規模)

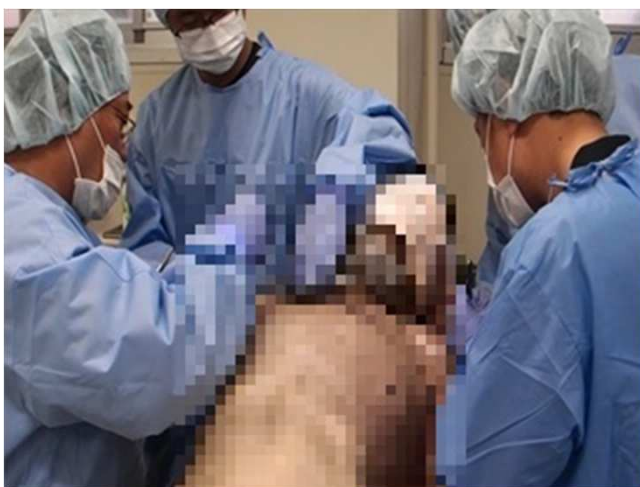
札幌医科大学 札幌徳洲会病院 岡山医療センター 米盛病院 岡山済生会総合病院
兵庫県立柏原病院 岡崎市民病院 兵庫県立淡路医療センター 戸畑共立病院 原三信病院
兵庫県立加古川医療センター 福井県立病院 湘南鎌倉総合病院 南会津病院 神戸大学
名古屋医療センター 長崎大学病院 岡山大学 富山市民病院



(5) 第1回 日本肩関節学会キャダバーワークショップ (平成27年 9月26日実施)

- ① 目的: 肩関節の基本的手術として必須である人工関節置換手術、関節脱臼制動手術、肩腱板縫合手術に必須な肩関節に特有の手術アプローチを習得するために、Thiel法固定遺体を用いてシミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術技術を習得する。
- ② 内容: 実習を目的とした事前講習を行った後、実習において、人工関節置換手術、関節脱臼制動手術、肩腱板縫合手術を再現する。
- ③ 参加施設・人数 24施設27名 (全国規模)

西岡第一病院 日本医科大学附属病院 聖隷三方原病院 永寿総合病院 自衛隊福岡病院 成田整形外科病院
まつもと医療センター中信松本病院 鹿児島大学 金沢医科大学 筑波大学附属病院 長野中央病院 東北大学
市立岸和田市民病院 田川市立病院 済生会横浜市東部病院 松山赤十字病院 宮崎大学 市立吹田市民病院
浦添総合病院 福岡大学筑紫病院 整形外科北新病院 北海道大学 札幌医科大学 北海道医療大学



(6) 第1回 日本口腔外科学会・日本顎関節学会キャダバーワークショップ

(平成27年 9月26日～27日実施)

- ①目的:顎関節の基本的手術として必須である顎関節穿刺術、灌流洗浄療法、関節開放円板切除術、下顎頭高位切除術に必須な顎関節に特有の手術アプローチを習得するために、Thiel法固定遺体を用いてシミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術技術を習得する。
- ②内容:初日に学術講習を行い、「倫理的配慮」及び「手術手技に関する講義」を実施する。2日目は実習を行い、顎関節穿刺術、灌流洗浄療法、関節開放円板切除術、下顎頭高位切除術などを再現する。受講者2名に1名の講師がマンツーマン形式で実習指導を行う。

③参加施設・人数 17施設18名 (全国規模)

釧路赤十字病院 近畿大学医学部附属病院 東京医科歯科大学 耳鼻咽喉科麻生病院 金沢大学附属病院
東京大学医学部附属病院 東京医科大学 神奈川歯科大学附属横浜クリニック 朝日大学 東京医療センター
大阪歯科大学 福井大学 北海道医療大学 愛知学院大学 埼玉医科大学 日本大学松戸歯学部 新潟大学



(7) JOSKAS(日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会)セミナー カダバーワークショップ
(平成27年10月24日～25日実施)

- ①目的: 膝関節外科領域の手術治療を行う、またはその習得を希望する整形外科医師を対象とし、Thiel法固定遺体を用いて、運動器治療における手術療法の基礎的な知識・手技の獲得と、より高度な手術技術の獲得、手術手技の安全性を高めることを目指す。
- ②内容: 実習を目的としたオリエンテーションを行った後、実習では、膝関節鏡視下手術手技として「膝関節鏡のポータル作製」「鏡視下半月板縫合術」「ACL再建術」「MPFL再建術」「外側支帯解離術」「脛骨粗面移動術」「手技終了後の解剖確認」などを実施する。

③参加施設・人数 21施設25名 (全国規模)

横浜旭中央総合病院 三井記念病院 愛生会山科病院 信州大学附属病院 加納総合病院 麻生総合病院
兵庫医科大学 JCHO湯河原病院 JCHO九州病院 石川県立中央病院 阪奈中央病院 大阪府済生会吹田病院
奈良県立医科大学 獨協医科大学越谷病院 紀南病院 多根総合病院 横浜市立大学 NTT東日本札幌病院
札幌医科大学 神戸大学 島根大学



(8) 第2回 日本肘関節学会キャダバーワークショップ (平成27年11月7日～8日実施)

- ①目的: 肘関節の低侵襲手術として必須である関節鏡手術、欠損組織の被覆及び機能再建に必要な有茎皮弁移植術、肘関節に特有の手術アプローチを習得するために、Thiel法固定遺体を用いてシミュレーション手術を体験し、安全で確実な手術技術を習得する。
- ②内容: 初日に、実習を目的とする座学による講習を行い、ワークショップの実施要項及び倫理的配慮を習得する。2日目の実習では、「肘関節鏡・解剖コース」「皮弁・解剖コース」「手術アプローチコース」の3分野に分け実施する。

③参加施設・人数 44施設52名 (全国規模)

札幌円山整形外科病院 札幌麻布整形外科病院 札幌徳洲会病院 岐阜市民病院 キッコーマン総合病院
刈谷豊田総合病院 香川大学 聖隷浜松病院 JCHO東京高輪病院 慶應義塾大学病院 長野市民病院
新潟手の外科研究所病院 福西会病院 糸魚川総合病院 佐倉整形外科病院 熊本整形外科病院 荻窪病院
埼玉赤十字病院 群馬大学医学部附属病院 済生会横浜市南部病院 JCHO大阪病院 市立豊中病院
長谷川記念病院 岐阜県立多治見病院 信州大学医学部附属病院 東京労災病院 土浦協同病院
北アルプス医療センターあづみ病院 藤岡総合病院 市立奈良病院 八戸市民病院 弘前大学 福岡大学
大阪医科大学附属病院 北摂総合病院 東京山手メディカルセンター 市立吹田市民病院 横浜労災病院
山王病院 済生会小樽病院 岡山済生会総合病院 さいたま赤十字病院 札幌医科大学 北海道医療大学



(9) 脊椎MIS(低侵襲手術) Cadaver Seminar 2015

(平成27年12月12日～13日実施)

- ①目的: 脊椎脊髄外科領域のMIS手術を行う、またはその習得を希望する整形外科医師を対象とし、運動器治療における手術療法の基礎的な知識・手技の獲得と、より高度な手術技術の獲得、手術手技の安全性を高めることを目指す。
- ②内容: Thiel法固定遺体を用い、各テーブルに本邦で使用されている脊椎MIS instrumentを配置し、研修を実施。様々な機器に触れ修練を行うことにより、手術手技の向上を目指す。また、ご遺体を用いることから、手術の有効性や周囲の解剖学的構造を確認する。

③参加施設・人数 18施設22名 (全国規模)

国立病院機構宇都宮病院 東邦大学 千葉徳洲会病院 横浜南共済病院 九州中央病院 豊川市民病院
名古屋第二赤十字病院 美濃市立美濃病院 東京都立多摩総合医療センター 関西医科大学附属滝井病院
福島県立医科大学会津医療センター 北上済生会病院 横浜市立みなと赤十字病院 はちや整形外科病院
岩井整形外科内科病院 札幌医科大学 慶應義塾大学 和歌山県立医科大学



(10) 第2回 時計台骨盤解剖セミナー(平成28年1月16日～17日実施)

- ① 目的: TVM(Tension-free Vaginal Mesh)手術(「骨盤臓器脱メッシュ手術」)は近年、国内で急速に広がったものの、手術の多くのプロセスはブラインドとなっている。
高度な手技が求められるTVM手術を習熟するためには、より多くのトレーニングが必要である。そこで、Thiel法固定遺体を用いて骨盤解剖を行うことにより、これら新しい手術の安全な術式を検討・習得することを目的とする。
- ② 内容: 参加者を5グループに分け、骨盤解剖及び骨盤臓器脱手術の安全な手術手技を習得する。骨盤解剖を学んだ後、グループ毎に異なった手術手技を実践し、手術法の違いによりリスク回避の具体的な注意点を学ぶ。
- ③ 参加施設・人数 12施設19名 **(全国規模)**
時計台記念病院 手稲溪仁会病院 富良野協会病院 北彩都病院 恵佑会札幌病院
新村病院 埼玉医科大学病院 亀田総合病院 四谷メディカルキューブ 杏林大学病院
市立芦屋病院 第一東和会病院



(11) 第3回 Thiel固定法遺体を用いた胸腔鏡下食道手術手技セミナー
(平成28年1月23日実施)

- ①目的: 胸腔鏡下食道手術手技、特に腹臥位胸腔鏡下食道手術のトレーニング及び解剖知識の向上を行い、術式の普及及び技術のレベルアップを図る。
- ②内容: Thiel法固定遺体にて、内視鏡手術装置、二酸化炭素による人工気胸を用い、腹臥位にて胸腔鏡下食道切除術の手術環境を再現し、かつ、食道手術において重要な縦隔の層構造の解剖を認識することで手術のシミュレーションを行う。

③参加施設・人数 9施設20名 (全国規模)

北海道大学 KKR札幌医療センター斗南病院 帯広厚生病院 山形県立中央病院
国立がん研究センター東病院 静岡市立静岡病院 長野市民病院 大阪市立大学
神戸大学



(12) 第4回 Thiel固定法遺体を用いた腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術手技セミナー
(平成28年1月24日実施)

- ①目的: Thiel法固定遺体を用いて、腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の普及及び技術の向上、並びに手術に必要な腹壁の層構造の解明を目的とする。
- ②内容: Thiel法固定遺体を気腹し、腹腔内アプローチによる鼠径ヘルニア手術(TAPP)及び腹膜外アプローチによる鼠径ヘルニア手術(TEP)を行い、腹壁の層(膜)の連続性を確認する。さらには、鼠径部周囲の解剖を理解し、血管・神経といった重要な構造物との位置関係も確認する。

③参加施設・人数 18施設32名 (道内中心)

KKR札幌医療センター斗南病院 KKR札幌医療センター みやざき外科ヘルニアクリニック 北海道医療センター
函館五稜郭病院 市立旭川病院 市立室蘭総合病院 市立函館病院 JCHO北辰病院 網走厚生病院
西さっぽろ病院 日鋼記念病院 岩見沢市立病院 王子総合病院 北海道大学 旭川医科大学
平塚市民病院 徳島赤十字病院



(13) 第7回 Thiel法固定遺体による麻酔ワークショップ (平成28年1月30日～31日実施)

- ① 目的: 超音波ガイド下神経ブロックを行うためには、超音波映像の描出及び穿刺針の刺入トレーニングが必要であり、これらをThiel法固定遺体で行うことで、実際の臨床と同様の感覚を養う。
また、神経ブロック以外に、実際の臨床では機会の少ないまたは十分にトレーニングを行えない気道確保などの手技についても実習を行う。
- ② 内容: 座学での講義を受けた後、「神経ブロック実習」は受講者3名を1グループとし、各遺体に設けられたブースを回ることで、頸部、体幹、四肢への神経ブロックを習得する。「気道確保・骨髄穿刺実習」では講師によるデモンストレーションの後、ご遺体を用いて気管切開と脛骨からの骨髄穿刺を経験する。
- ③ 参加施設・人数 10施設31名 **(道内中心)**
札幌医科大学 札幌厚生病院 帯広厚生病院 函館五稜郭病院 静和記念病院 北海道医療センター
北海道大学 旭川医科大学 つがる西北五広域連合西北中央病院 大分大学



受講後のアンケート

(6) 第1回 日本口腔外科学会・日本顎関節学会 キャダバーワークショップ

第1回 日本口腔外科学会・日本顎関節学会キャダバーワークショップ(H27.9.26~27実施) アンケート結果

回答数:24名

質問1: セミナーに参加して、

	大変有益であった	有益であった	さほど有益ではなかった	有益ではなかった
回答数	23	1	0	0

質問2: セミナーに参加して、

	また参加したい	参加したくない
回答数	24	0

質問3: セミナーに参加して、講師の指導は

	大変良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
回答数	22	2	0	0

質問4: セミナーに参加して、セミナーの構成は、

	大変良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
回答数	18	6	0	0

質問5: セミナーに参加して、ご自身の手術スキルは、

	大変スキルアップできた	スキルアップできた	あまりできなかった	できなかった
回答数	14	10	0	0

(6) 第1回 日本口腔外科学会・日本顎関節学会キャダバーワークショップ

- 1 大変有益であった。過去に同様セミナーへの参加経験はないが、今後も同様セミナーへ積極的に参加していきたい。
- 2 思った以上に生体に近い感じがして大変有益でした。手術台が低く腰が痛くなりました。
- 3 顎関節の専門の先生方にマンツーマンレクチャーを受ける機会はとても貴重なものとなりました。ご遺体が柔らかく実際の手術に近いものが良かった。ライトが近くにあれば良かったかもしれない。
- 4 次の手術ケースへの自信となった。
- 5 これまで疑問に思っていた解剖学的構造がわかりとても勉強になりました。手術法にバリエーションがあったので、もっと深く勉強しないと理解が難しい部分もありました。
- 6 ご遺体であることの手技の容易さ困難さはあったと思いますが、その違いもわかり勉強になりました。複数のインストラクターのお話を伺えるのも勉強になりました。
- 7 手術器具の整備が大変であるが、比較的使いやすいものが多かった。針が大きかったことは改善すべきか。
- 8 固定法が良いので実際の手術と同じ感触(刺操作など)色等を感じながら手術をすることができました。一遺体2名の受講者なので十分に実習をすることができ”贅沢なセミナー”でありました。セミナーの講義と実習と構成はとても素晴らしかったと思います。
- 9 大変有益でした。自分は穿刺、開放手術ともに未経験でしたがインストラクターの先生方が大変丁寧に指導してください、とても良かったです。ある程度手技を経験してから再度参加したらよりスキルアップになると感じました。
- 10 初めて参加しました。ご遺体なので十分に観察しながら手術手技を行えたので良かった。
- 11 某医大主催の実習に参加した際にはご遺体の状態が硬く神経血管の走行確認にとどまってしまった。今回のご遺体の軽やかさに感激しました。
- 12 学生実習で行ったキャダバーでの実習はありませんでしたので、勉強になりました。
- 13 ご遺体の保存状態が良く、軟組織の手術に適していた。
- 14 大変段取りが良く進行され、良かったと感じました。
- 15 大変丁寧に指導頂きました。
- 16 手術器具をもう少し充実するとさらに良いとおもいます。
- 17 時間的にも適切と考えられた。
- 18 Thiel法のご遺体の状態が良かった。また、インストラクター補助員としての参加できたが改めてインストラクターの先生と言われることがよくわかりました。
- 19 以前、海外でのキャダバー実習をしましたが、その時には凍結によるフレッシュキャダバーでした。今回も同様に柔らかく血管も剖出でき非常に良かったと思います。
- 20 今回は専門医以上とのことで受講者の年齢、経験等が同じであり順調に終了したと思います。学習目標が同じところというのは大切と考えます。

(10) 第2回 時計台骨盤解剖セミナー(平成28年1月16日～17日実施)

第2回 時計台骨盤解剖セミナー(H28.1.16～17実施) アンケート結果

回答数:16名

質問1: セミナーに参加して、

	大変有益であった	有益であった	さほど有益ではなかった	有益ではなかった
回答数	16	0	0	0

質問2: セミナーに参加して、

	また参加したい	参加したくない
回答数	16	0

質問3: セミナーに参加して、講師の指導は

	大変良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
回答数	15	1	0	0

質問4: セミナーに参加して、セミナーの構成は、

	大変良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった
回答数	14	2	0	0

質問5: セミナーに参加して、ご自身の手術スキルは、

	大変スキルアップできた	スキルアップできた	あまりできなかった	できなかった
回答数	7	9	0	0

(10) 第2回 時計台骨盤解剖セミナー(平成28年1月16日～17日実施)

質問6: セミナーに参加しての感想をお願いします。

- 1 毎回いろんな発見があります。
- 2 良かったです。
- 3 大変勉強になりました。今後の手術につなげ、スキルアップしていきたいです。また参加させていただきたいです。
- 4 カダバーならではの発見がありました。今後の手術に活かさせていただきたいと思います。
- 5 毎回新たな発見が。解剖の確認ができて有難い。
- 6 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 7 本当にありがとうございました。またよろしく願いいたします。
- 8 実際の手技を実技でできて、大変有益でした。
- 9 講師のDr.が親切だった。
- 10 IVGAで参加した時は、自分で手を動かすのではなくレクチャーだったので、今回はIVGAの時より、大変分かりやすく理解が深まった。
- 11 毎回新しい発見、認識の修正ができます。ありがとうございました。
- 12 以前、TVMのご遺体によるシミュレーションを初めて行わせていただきました。
臨床に直結することができ、札幌医大における、この形式の実習の有用性を肌で感じました。ここ3年、この企画による本実習は臨床技術のスキルアップにおいて、他にない有意性があり、できる限り毎年参加したいと思っています。今後もお続けいただければ。そして、できれば、より多くの婦人科医が参加されることを願っています。
- 13 次回以降は、学会の共催となる予定です。またよろしく願い申し上げます。

平成24～27年度

「実践的な手術手技向上研修事業」委託費 予算内訳

H24年度 (8,000,000 円)

- ・消耗品費 5,795,000 円
- ・賃借料 105,000 円
- ・人件費 2,000,000 円
- ・その他 100,000 円

H25年度 (8,707,000 円)

- ・消耗品費 4,872,000 円
- ・賃借料 105,000 円
- ・講師謝金 630,000 円
- ・人件費 3,000,000 円
- ・その他 100,000 円

H26年度 (5,046,000 円)

- ・消耗品費 1,546,000 円
- ・人件費 3,500,000 円

H27年度 (2,574,000 円)

- ・雑役務費 72,000 円
- ・人件費 2,502,000 円

本事業に対する要望

○札幌医大では、全国規模の学会が主催するキャダバーワークショップが根付いており、今後も継続的な施行が望まれている。

○事業を継続するためには、「事務局担当者1名の雇用の確保」が最重要課題である。
それ以外の消耗品費等は受益者負担としてセミナー参加費や主催団体からの奨学寄付金でまかなう事が可能である。